

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録・抽選登録／情報処理入門2 (An Introduction to Information Processing(2))		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	経済系のための情報活用 2		
担当者名 (Instructor)	日高 卓朗(HIDAKA TAKURO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX1040	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	1年次は自動登録(BX342～352) 2～4年次は抽選登録(BX354)		

授業の目標(Course Objectives)

授業の目標は、パソコンを利用した実習により、経済・財務・会計データを分析する方法を学ぶことである。

The objective of the class is to practice using a personal computer to learn the methods for analyzing economic, financial, and accounting data.

授業の内容(Course Contents)

テキストに沿いながら、実習を進めていく。多くの経済データに触れ、その有効活用する方法を学ぶ。各分野で活用されている種々の分析方法を、原データを使って理解することを内容とする。この学習を通じて、統計的な数量分析の力を身に着ける。

The practice will proceed following the textbook. The aim is to experience a wide range of economic data and learn how to use it effectively. In this course students will use raw data to understand the various analytical methods used in various fields. Through this study students will acquire the ability to perform statistical quantitative analysis.

授業計画(Course Schedule)

1. 外国為替レート変化の影響をとらえる
2. 地域の経済指標を比較する
3. 経済と環境の関係を測定する
4. 不平等度を測定する
5. 経済成長の要因を分解する
6. 消費の変動を要因分解する
7. 企業動向調査の結果を分析する、損益分岐点を算出する
8. 債券価値の変動を捉える
9. 人口データを分析する
10. GISの使い方を学ぶ
11. 季節性のあるデータを扱う
12. 財政・社会保障を体系的に学ぶ
13. 波及効果を測定する
14. 講義まとめ、レポート提出・予備日

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

情報処理入門1の内容を復習しておくことが大事である。テキストは事前に読んでくることを前提に授業を進める。単位取得には授業時に課されたレポート・課題の提出が必要となる。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%)/授業内提出物(課題・レポート含む)(50%)

テキスト(Textbooks)

1. 櫻本健編著、2019、『経済系のための情報活用1 Office2019013 対応』、実教出版 (ISBN:978-4-407-34826-2)
 2. 櫻本健編著、藤野裕・小澤康裕・一ノ瀬大輔・安藤道人・田浦元・倉田知秋著、2020、『経済系のための情報活用2 Office2019 対応』、実教出版 (ISBN:978-4-407-34827-9)
- テキスト購入の際には必ず指定の本を用意するようにしてください。

参考文献(Readings)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

1年次入学者で、春学期科目の情報処理入門を履修した者は自動登録される。政府統計の総合窓口(e-Stat)、OECD.Stat、日本

銀行 HP「時系列統計データ検索サイト」といった HP もテキストと併せて利用する。

注意事項 (Notice)